

令和3年(2021年)

1. 地区別

	20年~24年	25年~29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
燕地区	70	53	8	17	12	11	0	48	64.9%
燕(吉田)	55	32	6	9	8	11		34	45.9%
燕(分水)	13	16	2	5	2			9	12.2%
弥彦	1	23	0	1				1	1.4%
三条地区	39	19	5	6	5	2	0	18	24.3%
三条(栄)	29	11	5	6	5	2		18	24.3%
三条(下田)	7	6	0					0	0.0%
加茂地区	4	5	1	3	1	2	0	7	9.5%
加茂田上	3	3	0	2		1		3	4.1%
見附地区	1	0	1	1	1	1		4	5.4%
合計	114	77	14	27	18	15	0	74	100.0%

2. 事業規模別

	20年~24年	25年~29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
1~9人	38	33	9	7	6	7		29	35.8%
10~29人	44	24	4	13	11	4		32	39.5%
30~49人	13	6	1	1	1	11		13	16.0%
50人以上	19	14	0	6	1			7	8.6%
合計	114	77	14	27	18	22	0	81	100.0%

3. プレス機械の種類等

	20年~24年	25年~29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
ボジションクランプ	44	26	5	5	6	2		18	24.3%
液圧プレス	46	35	7	14	11	9		41	55.4%
プレスプレーキ	9	5	1					1	1.4%
その他のプレス	12	9	1	6	1	1		9	12.2%
合計	3	2	0	2		3		5	6.8%
起動方式	114	77	14	27	18	15	0	74	100.0%
両手操作	11	8	1	2	2	3		8	10.8%
片手操作	4	1	1	1				2	2.7%
足踏み操作	97	67	12	23	16	12		63	85.1%
その他	2	1	0	1				1	1.4%
合計	114	77	14	27	18	15	0	74	100.0%

プレス災害発生状況

令和4年(2022年)2月末現在

4. 安全措置状況

(状態として)	20年~24年	25年~29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
安衛則第131条第1項措置	24	10	2	3	0	2	0	7	7.1%
安全囲い	13	6	2	1		1		4	4.0%
安全金型				1				0	0.0%
専用プレス	5	1		1		1		2	2.0%
自動プレス	6	3						0	0.0%
安衛則第131条第2項措置	61	46	14	27	22	17	0	80	80.8%
ガード式	3	1		1		7		8	8.1%
両手操作式(FC)	2	2	6	9	4			19	19.2%
両手起動式(PC)	2	3			2	1		3	3.0%
光線式	34	35	6	14	10	9		39	39.4%
手引き式	4				1			1	1.0%
手払い式	11	3	1	1	1	3		5	5.1%
PSDI	5	2	1	2	2			0	0.0%
手工具	40	7	2	6	2	2		5	5.1%
安全措置なし	125	63	18	36	24	21	0	12	12.1%
合計	24	10	2	3	0	2	0	99	100.0%

注:1台に複数の安全装置がされている場合も含む。安全装置がしてあり、使用を怠った場合も「安全措置あり」を含む。

5. 作業の種類

	20年~24年	25年~29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計
定常作業(抜き・切断・曲げ・絞り等)	89	63	11	24	17	11		63
非常常作業(金型取り外し等)	25	14	3	3	1	4		11

6. 災害発生原因

	20年~24年	25年~29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
不安全な状態	92	54	4	15	19	6	0	44	46.3%
安全装置なし	16	14	2	6	2	1		11	11.6%
プレス機械の故障等	1	3			1			1	1.1%
安全装置の故障	1	2			1			1	1.1%
安全装置の不備(調整不良)	25	18	1	4	6	1		12	12.6%
作業方法の欠陥	41	13	1	5	8	4		18	18.9%
その他	8	4			1			1	1.1%
不安全な行動	90	47	14	12	15	10	0	51	53.7%
安全装置を無効にする	19	24	6	6	8	6		26	27.4%
安全装置の不履行	41	19	6	5	5	2		18	18.9%
その他(金型の取付・取外・調整を含む)	30	11	2	1	2	2		7	7.4%
合計	182	101	18	27	34	16	0	95	100.0%

(注) 不安全な状態と行動は両方該当する場合も記入してある。(災害発生件数と一致しない。)

(注) ○印の数字は死亡者数を表す。



【プレス災害発生状況】(プレスの種類で、FCプレスは、フリクションクラッチプレス、PCはポジティブクラッチプレスと種類を略称している。)

- 2月 FCプレスを使って、製品のかしめ作業中、フットスイッチを踏み、右手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが無効にしていた。  
ナックルプレスに金型を取り付け、寸動で動かしたところ、金型の取り付け具合に不具合があり、破損した金型の一部が飛来して、顎を負傷した。
- 3月 FCプレスを使って、抜き作業中、製品と製品を送り出すための材料に指を挟み、負傷した。  
FCプレスに金型取付後の試し打ち終了時に、製品を取り外そうとしたところ、フットスイッチを踏み、左手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが無効にしていた。
- 4月 FCプレスを使って、抜き作業中、製品を押さえていた手がずれたときにフットスイッチを踏み、右手を負傷した。
- 6月 FCプレスを使って、製品の位置調整中、フットスイッチを踏み、右手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが、防護範囲に不備があった。  
プレスブレーキを使って、曲げ作業中、フットスイッチを踏み、材料と金型の間に指を挟み、負傷した。
- 7月 クランクプレスを使って、刻印作業中、フットスイッチを踏み、右手を負傷した。安全装置は備えられていなかった。  
FCプレスの金型取付作業中、金型が破損し、破損した金型の一部が飛来して、右目を負傷した。
- 8月 PCプレスを使って、切断作業中、台にたまたまった製品を右手でかき出した際に、フットスイッチを踏み、負傷した。囲いを設けていたが、取り外していた。
- 9月 FCプレスを使って、絞り作業中、フットスイッチを踏み、右手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが無効にしていた。  
FCプレスの金型取付後のストッパー調整中、フットスイッチを踏み、右手を負傷した。
- 10月 FCプレスを使って、曲げ作業中、加工後の製品を取ろうとしたところ、フットスイッチを踏み、左手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが無効にしていた。  
FCプレスを使って、かしめ作業中、製品を手で保持していたところ、フットスイッチを踏み、左手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが無効にしていた。
- 12月 PCプレスを使って、刻印作業中、製品を保持していたところ、フットスイッチを踏み、右手を負傷した。手払い式を備えていたが取り外していた。